参考５．東邦レオ株式会社

■基本情報

企業名	東邦レオ株式会社
本社所在地	大阪府大阪市
設立年	1965年

■取り組みの背景・認識した地域課題

ヒートアイランド現象やゲリラ豪雨による水害などの都市型災害が深刻化

地域課題	地域資源
災害の深刻化 • 都市部では、ヒートアイランド現象や都市型水害の原因となる極地型集中豪雨が年々深刻化。災害に対する安全性や猛暑対策が、喫緊の課題となっている。	**都市緑化技術** • 東邦レオは、35年以上にわたり、植物が健全に生育するための都市緑化技術を培ってきた。 • 緑（グリーン）の持つ性能を都市基盤（インフラ）として機能させることで、植物や土壌の持つ自然の仕組みを利用。これにより、雨水の貯留・流出抑制による水害リスクの低減、水循環の改善、生息地の改善といった様々なメリットが期待される。

■商品・サービス内容

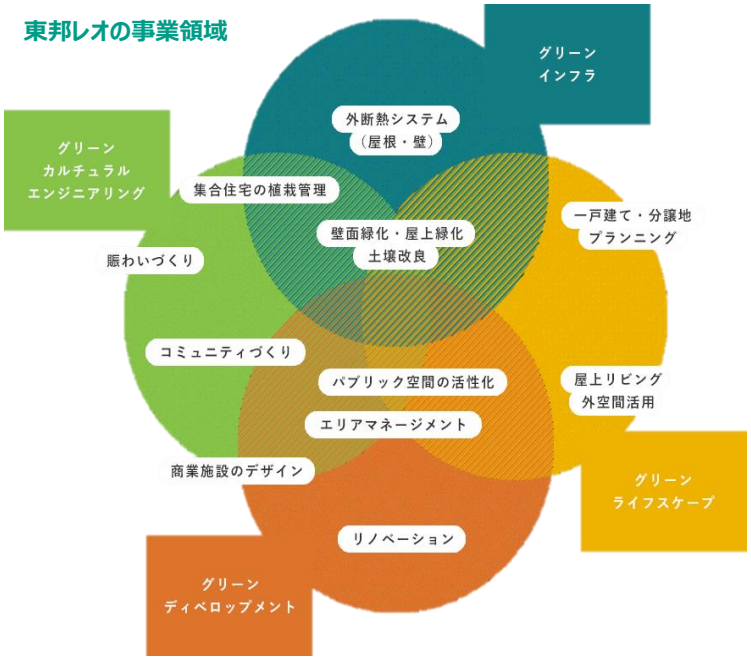
植物や土壌など自然の仕組みが持つ、雨水の貯留・流出等の機能を都市基盤に活用して、都市型災害対策に寄与
緑を活かした街の賑わい創出や、都市農村交流の形成など、自然の力から多くの相乗効果を生み出す

- 東邦レオ株式会社（以降、東邦レオ）は、緑化製品や断熱材などを生産・販売する大阪市の企業である。ハード面とソフト面双方から、新たな街づくりに取り組んでいる。
- ハード面では、自然が持つ多様な機能を賢く利用することで持続可能な社会と経済の発展に寄与するグリーンインフラ技術の普及に取り組んでいる。
- ソフト面では、緑化・植栽メンテナンスを通し、様々な事業者と連携しながら、賑わい・コミュニティ創出や土地活用に取り組んでいる。例えば、都市部のマンション住民と地方（例：徳島県佐那河内村）の交流の場づくりを行い、都市農村交流も実践している。今後は、商業施設も巻き込んだ都市農村交流を行うことも考えている。

例）**横浜市グランモール公園：**リサイクル材を活用したグリーンインフラにより、低コストで環境にもやさしく、蒸散によるヒートアイランド対策にもなるといった複数のメリットを実現している。

南池袋公園：公園において、グリーンインフラ技術を活用。緑化を通じた公園周辺における活性化や新たなビジネス創出にも繋がっている。

東邦レオの事業領域



グリーンインフラ

都市緑化技術をグリーンインフラ技術と捉え、魅力的な新しいまちづくりに貢献。

グリーンライフスケープ

内外空間を活用し、「自分らしい豊かな暮らし」が実現できる住まいを提供。

グリーンカルチュラルエンジニアリング

集合住宅や商業施設における植栽管理を通じて、人と人との繋がりを生み出すコミュニティ創出に取り組む。

グリーンディベロップメント

商業施設やオフィスにおいて、上質なデザインと対話型のランドスケープで、五感を刺激する空間づくりを実践。

出所）東邦レオ資料・インタビューより